



平成 25 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社  
(コード番号 3843:東証マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹  
問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高  
電 話 番 号 03-5459-0522(代表)  
(URL <http://www.freebit.com/>)

(訂正)「平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年6月26日付の当社適時開示「6月7日に開示致しました「当社連結子会社における不明瞭な取引及び会計処理に関するお知らせ」についての調査状況及び決算発表予定日についてのご報告」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成24年9月7日付「平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社  
コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹  
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部長 (氏名) 清水 高 TEL 03-5459-0522  
四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年4月期第1四半期の連結業績（平成24年5月1日～平成24年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	5,274	5.5	152	4.7	113	△40.5	△33	—
24年4月期第1四半期	5,000	38.2	146	—	190	—	88	—

(注) 包括利益 25年4月期第1四半期 △5百万円 (—%) 24年4月期第1四半期 78百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	<u>△1.70</u>	—
24年4月期第1四半期	4.48	4.42

- 当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
- 平成25年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第1四半期	<u>19,074</u>	<u>6,590</u>	32.3
24年4月期	<u>18,690</u>	<u>6,764</u>	34.2

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 6,162百万円 24年4月期 6,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、平成24年4月期の配当金については当該株式分割前の実績を記載しております。なお、25年4月期の配当金(予想)は株式分割後で記載しております。

3. 平成25年4月期の連結業績予想（平成24年5月1日～平成25年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,500	3.9	400	60.4	300	△13.7	10	—	0.50
通期	23,000	9.5	1,800	116.6	1,500	59.7	600	193.2	30.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年4月期1Q	20,411,600株	24年4月期	20,411,600株
② 期末自己株式数	25年4月期1Q	645,000株	24年4月期	556,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年4月期1Q	19,839,345株	24年4月期1Q	19,852,313株

（注）当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が出始めたことにより、穏やかな回復傾向にありましたが、欧州の財政危機や円高の長期化等により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、平成25年4月期を中期経営計画「SiLK VISION 2013」の最終年度としての目標達成及び次期中期経営計画の橋渡しの期として、「Being The NET Frontier! (インターネットをひろげ、社会に貢献する)」の企業理念の下、今後の飛躍的成長を遂げるため以下を基本方針と設定し、取組みを進めております。

＜平成25年4月期 基本方針＞

- ・固定網からMVNO (Mobile Virtual Network Operator、以下「MVNO」) を利用した独自性あるモバイルサービスへの積極的シフト
- ・接続サービスの対象を、PCからSmartPhone/Pad などの新しいモバイル端末にシフト
- ・独自性の高い仮想化技術を採用したVDC (Virtual Data Center、以下「VDC」) を中心としたクラウドサービスの拡大とMSP (Management Services Provider) の立上げ
- ・アドテクノロジーを活かした事業展開における市場の優位性の確立
- ・「Cloud@SD」の拡販によるM2M (Machine to Machine、以下「M2M」) 領域への本格的市場参入

当第1四半期連結累計期間におきましては、拡大が進むMVNOサービスへの積極的シフトを進め、子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット (以下、「DTI」) を中心に新規モバイルユーザーを獲得いたしました。また、VDCをはじめクラウド領域におけるサービス提供が順調に進捗していることに加え、アドテクノロジーインフラにおいてもサービスの品質向上及び営業体制の強化により取引が拡大いたしました。

これらの取組みが功を奏し、売上高は、前連結会計年度に積極的に実行いたしました構造改革プログラム「SiLK Renaissance」により撤退した事業の売上を除いたコア事業において、前年同期比14.3%増の5,274,757千円 (ノンコア事業売上高を含む前年同期比5.5%増) となり、大幅な増収を達成いたしました。

一方、飛躍的な成長を遂げるための新規顧客獲得施策や積極的な人材採用等の先行投資費用、ならびに譲受け事業等の業務移管や子会社の本社移転に伴う一時費用が発生したことにより販売管理費が増加し、営業利益は152,892千円 (前年同期比4.7%増)、経常利益は113,235千円 (前年同期比40.5%減) となりましたが、連結業績予想に基づく当第1四半期連結累計期間の売上・利益計画を上回り進捗いたしました。また、四半期損益につきましては、法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額の計上に伴い、33,654千円の四半期純損失となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、一部報告セグメントについて名称の変更を行っておりますが、セグメントの内訳に関しましては変更いたしておりません。

#### ① ブロードバンドインフラ (旧ISP's ISP)

戦略的に固定回線依存の体質からの脱却を進めており、光回線からMVNOへのシフトの準備が進み、モバイル通信の新規契約数も順調に増加しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、モバイル通信の売上増加に加え、「CloudMail」を始めとするクラウドサービスの販売も順調に推移したものの、固定回線の売上が一時的に減少したこと等により、売上高は1,789,348千円 (前年同期比2.7%減)、セグメント利益は215,567千円 (前年同期比16.7%減) となりました。なお、固定回線契約数の減少につきましては、当第3四半期連結会計期間以降で改善していく見通しです。

#### ② クラウドコンピューティングインフラ (旧iDC's iDC)

当社の強みであるIPv6と仮想化技術を駆使したVDCサービスにおいて仮想サーバ稼働数及び契約社数が順調に増加したこと等により、前第4四半期連結会計期間より黒字転換しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、SAP事業者への新規クライアント獲得活動を継続する他、国内大手TV局、インターネット広告会社及び、キャリア系企業等への導入が進んだことにより、前年同期に比して大幅に利益貢献をいたしました。

以上の結果、売上高は565,422千円 (前年同期比26.8%増)、セグメント利益は21,523千円 (前年同期は37,573千円のセグメント損失) と大幅な増益となりました。

## ③ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ（旧Maker's Maker）

中国最大規模のコンシューマーエレクトロニクス企業であるaigo Digital Technology Co. Ltd.との提携によりユビキタス家電の販売を推進しております。さらに、M2M領域においてのコアコンポーネントである、Cloud@SDの開発に成功し、シンプルなソリューションによる顧客提案の拡大を進めております。また、「ServersMan」テクノロジーが、法人向けプライベートクラウド市場で採用され既に市場投入も開始されております。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度においてノンコア事業である家電の自社開発から撤退したことに伴い、赤字幅を大幅に縮小し、利益率の高い独自性のあるソリューションへのシフトが進んできております。

以上の結果、売上高は24,893千円（前年同期比93.4%減）、セグメント損失は91,947千円（前年同期は131,313千円のセグメント損失）となりました。

## ④ B2C

子会社のDTIを中心に、成長著しいクラウド領域とモバイル通信領域に対して積極的な事業展開を行い、これまでの固定回線によるインターネット接続サービス依存から、「ServersMan@VPS」や「ServersMan@Disk」といったエンドユーザー向けクラウドサービスと「DTI WiMAXモバイルプラン」をはじめとしたMVNOサービスの提供に軸足をいち早くシフトしたことが奏功し売上増加につながりました。一方、固定回線の依存体質から脱却を図る戦略のもと、今後継続課金の増加が見込めるモバイル会員の新規獲得に要する支援コストや初期費用が前倒しで発生したこと、さらに、前連結会計年度末に譲受けたアルファインターネット事業の構造改革費用の計上等により、セグメント利益については減少いたしました。以上の結果、売上高は1,193,224千円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は95,405千円（前年同期比44.6%減）となりました。なお、アルファインターネット事業の構造改革は、当第2四半期連結累計期間でほぼ完了し、当第3四半期連結会計期間から利益に貢献する見通しです。

## ⑤ アドテクノロジーインフラ（旧InternetMarketing）

SEO（検索エンジン最適化）及びリスティング広告（検索連動型広告）、アフィリエイト広告等インターネットマーケティング関連の各種サービスの品質向上に向けた取り組みや営業体制の強化により、売上高が大幅に増加いたしました。一方、テクノロジーを活かした事業展開で市場での優位性を確立すべく積極的な人材採用を実施したこと、また、関連事業であるEコマースの運営費の増加及び、賃料減額とフリービット各社との連携強化を目的とした連結子会社の本社移転に伴う費用も発生したことから、セグメント利益については減少いたしました。以上の結果、売上高は1,962,239千円（前年同期比33.3%増）、セグメント利益は67,715千円（前年同期比0.8%減）となりました。

## ⑥ SI

不動産向けシステム開発及びネットワーク提案を強化したこと及び労務コストを削減したこと等が寄与し、黒字転換をいたしました。以上の結果、売上高は130,598千円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は3,060千円（前年同期は19,124千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高およびセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンドインフラ	<u>1,789,348</u>	<u>215,567</u>
クラウドコンピューティングインフラ	<u>565,422</u>	<u>21,523</u>
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	24,893	<u>△91,947</u>
B2C	1,193,224	95,405
アドテクノロジーインフラ	<u>1,962,239</u>	<u>67,715</u>
SI	130,598	3,060
その他	37,431	<u>△9,118</u>
消去又は全社	△428,400	<u>△149,314</u>
合計	<u>5,274,757</u>	<u>152,892</u>

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は19,074,842千円となり、前連結会計年度と比べて384,502千円増加しました。これは主として、現金及び預金が359,087千円及び有形固定資産が76,665千円増加したことによるものです。

負債は12,484,443千円となり、前連結会計年度と比べて558,288千円増加しました。これは主として、未払金が333,925千円減少したものの、短期借入金が942,143千円増加したことによるものです。

純資産は、主に配当金の支払い及び四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度と比べて173,785千円減少の6,590,398千円となり、この結果、自己資本比率は32.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

MVNOへの積極的シフトを戦略的に進めており、概ね期初計画どおり進捗していることから、連結業績予想につきましては、平成24年6月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、その影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,873,975	5,233,063
受取手形及び売掛金	<u>3,298,403</u>	<u>3,065,210</u>
商品及び製品	269,595	292,998
仕掛品	16,601	59,436
原材料及び貯蔵品	10,248	9,538
その他	<u>2,506,077</u>	<u>2,761,078</u>
貸倒引当金	<u>△174,683</u>	<u>△176,006</u>
流動資産合計	<u>10,800,218</u>	<u>11,245,319</u>
固定資産		
有形固定資産	<u>1,245,910</u>	<u>1,322,575</u>
無形固定資産		
のれん	<u>4,254,838</u>	<u>4,131,026</u>
ソフトウェア	<u>183,318</u>	<u>297,553</u>
その他	49,740	47,973
無形固定資産合計	<u>4,487,897</u>	<u>4,476,552</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233,718	1,207,512
差入保証金	493,890	414,080
その他	<u>842,499</u>	<u>803,930</u>
貸倒引当金	<u>△413,795</u>	<u>△395,131</u>
投資その他の資産合計	<u>2,156,313</u>	<u>2,030,393</u>
固定資産合計	<u>7,890,121</u>	<u>7,829,522</u>
資産合計	<u>18,690,339</u>	<u>19,074,842</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<u>46,048</u>	<u>158,290</u>
短期借入金	1,407,778	2,349,921
1年内返済予定の長期借入金	1,971,825	1,806,294
未払金	<u>3,332,718</u>	<u>2,998,792</u>
未払法人税等	<u>146,015</u>	<u>113,269</u>
販売促進引当金	411,804	488,074
その他の引当金	47,506	24,140
その他	<u>781,955</u>	<u>794,874</u>
流動負債合計	<u>8,145,651</u>	<u>8,733,659</u>
固定負債		
社債	300,000	250,000
長期借入金	3,012,146	2,960,435
引当金	9,152	10,252
その他	459,205	530,097
固定負債合計	<u>3,780,504</u>	<u>3,750,784</u>
負債合計	<u>11,926,155</u>	<u>12,484,443</u>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,085	3,045,085
資本剰余金	1,673,302	1,673,302
利益剰余金	<u>2,026,355</u>	<u>1,843,395</u>
自己株式	<u>△364,327</u>	<u>△401,483</u>
株主資本合計	<u>6,380,415</u>	<u>6,160,299</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,928	7,351
為替換算調整勘定	<u>△1,682</u>	<u>△5,262</u>
その他の包括利益累計額合計	6,246	2,088
新株予約権	828	828
少数株主持分	<u>376,694</u>	<u>427,182</u>
純資産合計	<u>6,764,183</u>	<u>6,590,398</u>
負債純資産合計	<u>18,690,339</u>	<u>19,074,842</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	5,000,457	5,274,757
売上原価	3,325,919	3,493,662
売上総利益	1,674,537	1,781,095
販売費及び一般管理費	1,528,457	1,628,202
営業利益	146,080	152,892
営業外収益		
受取利息	3,838	3,033
受取配当金	744	251
貸倒引当金戻入額	15,924	—
負ののれん償却額	82,667	15,329
その他	17,958	1,928
営業外収益合計	121,133	20,542
営業外費用		
支払利息	42,338	30,241
持分法による投資損失	20,724	20,866
その他	13,909	9,091
営業外費用合計	76,973	60,199
経常利益	190,240	113,235
特別利益		
投資有価証券売却益	7,614	—
特別利益合計	7,614	—
特別損失		
減損損失	41,236	—
事務所移転費用	—	9,173
その他	50,067	393
特別損失合計	91,304	9,567
税金等調整前四半期純利益	106,550	103,668
法人税、住民税及び事業税	44,746	100,040
法人税等調整額	△29,172	4,245
法人税等合計	15,573	104,286
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	90,977	△617
少数株主利益	2,029	33,036
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,948	△33,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>90,977</u>	<u>△617</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,228	△1,110
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,288	△3,580
その他の包括利益合計	<u>△12,517</u>	<u>△4,690</u>
四半期包括利益	<u>78,460</u>	<u>△5,307</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>76,429</u>	<u>△37,811</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>2,030</u>	<u>32,503</u>

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C	アドテクノロジ ーインフラ
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,489,245</u>	<u>410,402</u>	314,082	1,068,260	<u>1,453,522</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	349,126	35,356	61,015	1,866	18,708
計	<u>1,838,372</u>	<u>445,759</u>	375,098	1,070,127	<u>1,472,230</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>258,753</u>	<u>△37,573</u>	<u>△131,313</u>	172,281	<u>68,237</u>

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	140,064	124,879	<u>5,000,457</u>	—	<u>5,000,457</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,845	128	473,046	△473,046	—
計	146,909	125,007	<u>5,473,503</u>	△473,046	<u>5,000,457</u>
セグメント利益又は損失(△)	△19,124	<u>△10,228</u>	<u>301,032</u>	<u>△154,951</u>	<u>146,080</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△154,951千円には、のれん償却額△148,046千円、未実現利益の調整額△5,933千円及びその他の連結調整額△971千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C	アドテクノロジー ーインフラ
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,432,201</u>	<u>526,648</u>	24,389	1,192,753	<u>1,944,357</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	357,147	38,774	503	470	17,882
計	<u>1,789,348</u>	<u>565,422</u>	24,893	1,193,224	<u>1,962,239</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>215,567</u>	<u>21,523</u>	<u>△91,947</u>	95,405	<u>67,715</u>

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	117,020	37,387	<u>5,274,757</u>	—	<u>5,274,757</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,578	44	428,400	△428,400	—
計	130,598	37,431	<u>5,703,158</u>	△428,400	<u>5,274,757</u>
セグメント利益又は損失(△)	3,060	<u>△9,118</u>	<u>302,207</u>	<u>△149,314</u>	<u>152,892</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,314千円には、のれん償却額△151,391千円、貸倒引当金の組替額1,244千円及び、その他の連結調整額831千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、一部の報告セグメントについて名称を変更いたしました。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

旧名称	新名称
ISP's ISP	ブロードバンドインフラ
iDC's iDC	クラウドコンピューティングインフラ
Maker's Maker	次世代インターネット・ユビキタスインフラ
InternetMarketing	アドテクノロジーインフラ

(訂正前)



## 平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社  
コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹  
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部長 (氏名) 清水 高 TEL 03-5459-0522  
四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日  
配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年4月期第1四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	5,291	5.1	149	△5.9	112	△45.5	△49	-
24年4月期第1四半期	5,035	39.2	158	-	206	-	158	-

(注) 包括利益 25年4月期第1四半期 △21百万円 (-%) 24年4月期第1四半期 147百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	<u>△2.48</u>	-
24年4月期第1四半期	<u>7.98</u>	<u>7.89</u>

- 当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
- 平成25年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第1四半期	<u>19,245</u>	<u>6,747</u>	32.3
24年4月期	<u>18,830</u>	<u>6,937</u>	34.2

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 6,207百万円 24年4月期 6,446百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	-	0.00	-	3,000.00	3,000.00
25年4月期	-	-	-	-	-
25年4月期(予想)	-	0.00	-	9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、平成24年4月期の配当金については当該株式分割前の実績を記載しております。なお、25年4月期の配当金(予想)は株式分割後で記載しております。

3. 平成25年4月期の連結業績予想（平成24年5月1日～平成25年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,500	3.3	400	44.1	300	△21.9	10	△80.5	0.50
通期	23,000	8.6	1,800	99.3	1,500	46.1	600	145.0	30.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年4月期1Q	20,411,600株	24年4月期	20,411,600株
② 期末自己株式数	25年4月期1Q	645,000株	24年4月期	556,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年4月期1Q	19,839,345株	24年4月期1Q	19,852,313株

（注）当社は、平成24年5月1日付で株式1株につき400株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が出始めたことにより、穏やかな回復傾向にありましたが、欧州の財政危機や円高の長期化等により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、平成25年4月期を中期経営計画「SiLK VISION 2013」の最終年度としての目標達成及び次期中期経営計画の橋渡しの期として、「Being The NET Frontier! (インターネットをひろげ、社会に貢献する)」の企業理念の下、今後の飛躍的成長を遂げるため以下を基本方針と設定し、取組みを進めております。

#### <平成25年4月期 基本方針>

- ・固定網からMVNO (Mobile Virtual Network Operator、以下「MVNO」) を利用した独自性あるモバイルサービスへの積極的シフト
- ・接続サービスの対象を、PCからSmartPhone/Pad などの新しいモバイル端末にシフト
- ・独自性の高い仮想化技術を採用したVDC (Virtual Data Center、以下「VDC」) を中心としたクラウドサービスの拡大とMSP (Management Services Provider) の立上げ
- ・アドテクノロジーを活かした事業展開における市場の優位性の確立
- ・「Cloud@SD」の拡販によるM2M (Machine to Machine、以下「M2M」) 領域への本格的市場参入

当第1四半期連結累計期間におきましては、拡大が進むMVNOサービスへの積極的シフトを進め、子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット (以下、「DTI」) を中心に新規モバイルユーザーを獲得いたしました。また、VDCをはじめクラウド領域におけるサービス提供が順調に進捗していることに加え、アドテクノロジーインフラにおいてもサービスの品質向上及び営業体制の強化により取引が拡大いたしました。

これらの取組みが功を奏し、売上高は、前連結会計年度に積極的に実行いたしました構造改革プログラム「SiLK Renaissance」により撤退した事業の売上を除いたコア事業において、前年同期比13.8%増の5,291,909千円 (ノンコア事業売上高を含む前年同期比5.1%増) となり、大幅な増収を達成いたしました。

一方、飛躍的な成長を遂げるための新規顧客獲得施策や積極的な人材採用等の先行投資費用、ならびに譲受け事業等の業務移管や子会社の本社移転に伴う一時費用が発生したことにより販売管理費が増加し、営業利益は149,089千円 (前年同期比5.9%減)、経常利益は112,526千円 (前年同期比45.5%減) となりましたが、連結業績予想に基づく当第1四半期連結累計期間の売上・利益計画を上回り進捗いたしました。また、四半期利益につきましては、法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額の計上に伴い、49,241千円の四半期純損失となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、一部報告セグメントについて名称の変更を行っておりますが、セグメントの内訳に関しましては変更いたしておりません。

#### ① ブロードバンドインフラ (旧ISP's ISP)

戦略的に固定回線依存の体質からの脱却を進めており、光回線からMVNOへのシフトの準備が進み、モバイル通信の新規契約数も順調に増加しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、モバイル通信の売上増加に加え、「CloudMail」を始めとするクラウドサービスの販売も順調に推移したものの、固定回線の売上が一時的に減少したこと等により、売上高は1,795,471千円 (前年同期比2.7%減)、セグメント利益は212,287千円 (前年同期比16.8%減) となりました。なお、固定回線契約数の減少につきましては、当第3四半期連結会計期間以降で改善していく見通しです。

#### ② クラウドコンピューティングインフラ (旧iDC's iDC)

当社の強みであるIPv6と仮想化技術を駆使したVDCサービスにおいて仮想サーバ稼働数及び契約社数が順調に増加したこと等により、前第4四半期連結会計期間より黒字転換しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、SAP事業者への新規クライアント獲得活動を継続する他、国内大手TV局、インターネット広告会社及び、キャリア系企業等への導入が進んだことにより、前年同期に比して大幅に利益貢献をいたしました。

以上の結果、売上高は577,351千円 (前年同期比26.7%増)、セグメント利益は21,494千円 (前年同期は38,935千円のセグメント損失) と大幅な増益となりました。

## ③ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ（旧Maker's Maker）

中国最大規模のコンシューマーエレクトロニクス企業であるaigo Digital Technology Co. Ltd.との提携によりユビキタス家電の販売を推進しております。さらに、M2M領域においてのコアコンポーネントである、Cloud@SDの開発に成功し、シンプルなソリューションによる顧客提案の拡大を進めております。また、「ServersMan」テクノロジーが、法人向けプライベートクラウド市場で採用され既に市場投入も開始されております。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度においてノンコア事業である家電の自社開発から撤退したことに伴い、赤字幅を大幅に縮小し、利益率の高い独自性のあるソリューションへのシフトが進んできております。

以上の結果、売上高は24,893千円（前年同期比93.4%減）、セグメント損失は92,529千円（前年同期は131,886千円のセグメント損失）となりました。

## ④ B2C

子会社のDTIを中心に、成長著しいクラウド領域とモバイル通信領域に対して積極的な事業展開を行い、これまでの固定回線によるインターネット接続サービス依存から、「ServersMan@VPS」や「ServersMan@Disk」といったエンドユーザー向けクラウドサービスと「DTI WiMAXモバイルプラン」をはじめとしたMVNOサービスの提供に軸足をいち早くシフトしたことが奏功し売上増加につながりました。一方、固定回線の依存体質から脱却を図る戦略のもと、今後継続課金の増加が見込めるモバイル会員の新規獲得に要する支援コストや初期費用が前倒しで発生したこと、さらに、前連結会計年度末に譲受けたアルファインターネット事業の構造改革費用の計上等により、セグメント利益については減少いたしました。以上の結果、売上高は1,193,224千円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は95,405千円（前年同期比44.6%減）となりました。なお、アルファインターネット事業の構造改革は、当第2四半期連結累計期間でほぼ完了し、当第3四半期連結会計期間から利益に貢献する見通しです。

## ⑤ アドテクノロジーインフラ（旧InternetMarketing）

SEO（検索エンジン最適化）及びリスティング広告（検索連動型広告）、アフィリエイト広告等インターネットマーケティング関連の各種サービスの品質向上に向けた取り組みや営業体制の強化により、売上高が大幅に増加いたしました。一方、テクノロジーを活かした事業展開で市場での優位性を確立すべく積極的な人材採用を実施したこと、また、関連事業であるEコマースの運営費の増加及び、賃料減額とフリービット各社との連携強化を目的とした連結子会社の本社移転に伴う費用も発生したことから、セグメント利益については減少いたしました。以上の結果、売上高は1,961,339千円（前年同期比31.6%増）、セグメント利益は65,887千円（前年同期比21.6%減）となりました。

## ⑥ SI

不動産向けシステム開発及びネットワーク提案を強化したこと及び労務コストを削減したこと等が寄与し、黒字転換をいたしました。以上の結果、売上高は130,598千円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は3,060千円（前年同期は19,124千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高およびセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンドインフラ	<u>1,795,471</u>	<u>212,287</u>
クラウドコンピューティングインフラ	<u>577,351</u>	<u>21,494</u>
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	24,893	<u>△92,529</u>
B2C	1,193,224	95,405
アドテクノロジーインフラ	<u>1,961,339</u>	<u>65,887</u>
SI	130,598	3,060
その他	37,431	<u>△9,120</u>
消去又は全社	△428,400	<u>△147,397</u>
合計	<u>5,291,909</u>	<u>149,089</u>

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は19,245,385千円となり、前連結会計年度と比べて414,734千円増加しました。これは主として、現金及び預金が359,087千円及び有形固定資産が145,988千円増加したことによるものです。

負債は12,497,503千円となり、前連結会計年度と比べて604,334千円増加しました。これは主として、未払金が333,925千円減少したものの、短期借入金が942,143千円増加したことによるものです。

純資産は、主に配当金の支払い及び四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度と比べて189,599千円減少の6,747,881千円となり、この結果、自己資本比率は32.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

MVNOへの積極的シフトを戦略的に進めており、概ね期初計画どおり進捗していることから、連結業績予想につきましては、平成24年6月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、その影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,873,975	5,233,063
受取手形及び売掛金	<u>3,411,921</u>	<u>3,184,497</u>
商品及び製品	269,595	292,998
仕掛品	16,601	59,436
原材料及び貯蔵品	10,248	9,538
その他	<u>2,532,833</u>	<u>2,754,401</u>
貸倒引当金	<u>△160,928</u>	<u>△159,623</u>
流動資産合計	<u>10,954,248</u>	<u>11,374,312</u>
固定資産		
有形固定資産	<u>1,287,987</u>	<u>1,433,976</u>
無形固定資産		
のれん	<u>4,201,009</u>	<u>4,078,255</u>
ソフトウェア	<u>181,351</u>	<u>295,686</u>
その他	49,740	47,973
無形固定資産合計	<u>4,432,100</u>	<u>4,421,915</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233,718	1,207,512
差入保証金	493,890	414,080
その他	<u>781,623</u>	<u>727,841</u>
貸倒引当金	<u>△352,919</u>	<u>△334,255</u>
投資その他の資産合計	<u>2,156,313</u>	<u>2,015,180</u>
固定資産合計	<u>7,876,402</u>	<u>7,871,072</u>
資産合計	<u>18,830,650</u>	<u>19,245,385</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<u>69,098</u>	<u>183,440</u>
短期借入金	1,407,778	2,349,921
1年内返済予定の長期借入金	1,971,825	1,806,294
未払金	<u>3,326,403</u>	<u>2,992,477</u>
未払法人税等	<u>136,015</u>	<u>105,818</u>
販売促進引当金	411,804	488,074
その他の引当金	47,506	24,140
その他	<u>742,233</u>	<u>796,550</u>
流動負債合計	<u>8,112,665</u>	<u>8,746,719</u>
固定負債		
社債	300,000	250,000
長期借入金	3,012,146	2,960,435
引当金	9,152	10,252
その他	459,205	530,097
固定負債合計	<u>3,780,504</u>	<u>3,750,784</u>
負債合計	<u>11,893,169</u>	<u>12,497,503</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,085	3,045,085
資本剰余金	1,673,302	1,673,302
利益剰余金	<u>2,086,638</u>	<u>1,888,090</u>
自己株式	△364,327	△401,483
株主資本合計	<u>6,440,698</u>	<u>6,204,994</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,928	7,351
為替換算調整勘定	△1,682	△5,262
その他の包括利益累計額合計	6,246	2,088
新株予約権	828	828
少数株主持分	<u>489,708</u>	<u>539,970</u>
純資産合計	<u>6,937,481</u>	<u>6,747,881</u>
負債純資産合計	<u>18,830,650</u>	<u>19,245,385</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	5,035,179	5,291,909
売上原価	3,347,057	3,512,298
売上総利益	1,688,121	1,779,611
販売費及び一般管理費	1,529,705	1,630,521
営業利益	158,416	149,089
営業外収益		
受取利息	3,838	3,033
受取配当金	744	251
貸倒引当金戻入額	15,924	—
負ののれん償却額	82,667	15,329
その他	17,958	1,928
営業外収益合計	121,133	20,542
営業外費用		
支払利息	42,338	29,775
持分法による投資損失	20,724	20,866
その他	9,940	6,463
営業外費用合計	73,004	57,105
経常利益	206,545	112,526
特別利益		
投資有価証券売却益	7,614	—
特別利益合計	7,614	—
特別損失		
減損損失	29,220	—
事務所移転費用	—	9,173
その他	50,067	393
特別損失合計	79,288	9,567
税金等調整前四半期純利益	134,872	102,958
法人税、住民税及び事業税	44,746	102,589
法人税等調整額	△70,106	16,801
法人税等合計	△25,360	119,391
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	160,232	△16,432
少数株主利益	1,802	32,809
四半期純利益又は四半期純損失(△)	158,430	△49,241

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>160,232</u>	<u>△16,432</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,228	△1,110
為替換算調整勘定	△7,288	△3,580
その他の包括利益合計	<u>△12,517</u>	<u>△4,690</u>
四半期包括利益	<u>147,715</u>	<u>△21,122</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>145,911</u>	<u>△53,398</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>1,804</u>	<u>32,276</u>

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C	アドテクノロジー ーインフラ
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,495,368</u>	<u>420,502</u>	314,082	1,068,260	<u>1,472,022</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	349,126	35,356	61,015	1,866	18,708
計	<u>1,844,494</u>	<u>455,859</u>	375,098	1,070,127	<u>1,490,730</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>255,278</u>	<u>△38,935</u>	<u>△131,886</u>	172,281	<u>84,076</u>

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	140,064	124,879	<u>5,035,179</u>	—	<u>5,035,179</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,845	128	473,046	△473,046	—
計	146,909	125,007	<u>5,508,225</u>	△473,046	<u>5,035,179</u>
セグメント利益又は損失(△)	△19,124	<u>△10,237</u>	<u>311,451</u>	<u>△153,034</u>	<u>158,416</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,034千円には、のれん償却額△146,128千円、未実現利益の調整額△5,933千円及びその他の連結調整額△971千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピューティング インフラ	次世代インターネット・ユビキタス インフラ	B2C	アドテクノロジー インフラ
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,438,323</u>	<u>538,577</u>	24,389	1,192,753	<u>1,943,457</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	357,147	38,774	503	470	17,882
計	<u>1,795,471</u>	<u>577,351</u>	24,893	1,193,224	<u>1,961,339</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>212,287</u>	<u>21,494</u>	<u>△92,529</u>	95,405	<u>65,887</u>

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	117,020	37,387	<u>5,291,909</u>	—	<u>5,291,909</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,578	44	428,400	△428,400	—
計	130,598	37,431	<u>5,720,310</u>	△428,400	<u>5,291,909</u>
セグメント利益又は損失(△)	3,060	<u>△9,120</u>	<u>296,486</u>	<u>△147,397</u>	<u>149,089</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△147,397千円には、のれん償却額△149,473千円、貸倒引当金の組替1,244千円及び、その他の連結調整額831千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、一部の報告セグメントについて名称を変更いたしました。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

旧名称	新名称
ISP's ISP	ブロードバンドインフラ
iDC's iDC	クラウドコンピューティングインフラ
Maker's Maker	次世代インターネット・ユビキタスインフラ
InternetMarketing	アドテクノロジーインフラ